

ケミカル

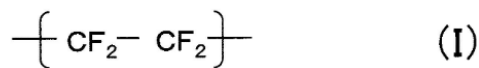
薄くて高い透明度で皮膜形成できる光触媒塗料組成物

発明の名称	光触媒塗料組成物およびそれを用いた塗装方法		
出願人/権利人	協立技研株式会社、北村 透	発明者	小原 英昭、北村 透
出願日	平成30年3月8日	出願番号	2018-042131
公開番号	2019-156908	特許番号	6539370
法的状態	登録中		

代表図(図面なし)

【請求項1】

下記式(I)に示されるモノマー単位を少なくとも含むフッ素樹脂(A)と、光触媒粉末(B)と、溶剤(C)とを含み、成分(B)の平均粒子径が、2次粒子径として0.4~2.0 μ mであり、成分(A)100質量部に対して、成分(B)が100~300質量部の割合で含有され、成分(A)と成分(B)とが合計で0.06~1質量%の濃度で含有される、光触媒塗料組成物。



モノマー単位

発明の概要

親水性および耐水性の相反する性質をバランスよく付与できる光触媒塗料組成物

特徴

本発明の光触媒塗料組成物は、形成される被膜が高い透明度で良好な外観を有し、厚みが比較的薄くても十分な光触媒活性を発揮する。さらに、形成される被膜は、親水性および耐水性の相反する性質をバランスよく有する。また、本発明の塗装方法では、煩雑な工程を経ることなく簡便な工程で、光触媒塗料組成物を基材に塗布でき、厚みが比較的薄い被膜を基材に形成できる。光触媒塗料組成物に含まれる成分は、光触媒活性を有する化合物であれば特に限定されない。例えば、酸化チタン、酸化タングステン、酸化亜鉛、酸化鉄、酸化ジルコニウムなどが挙げられる。

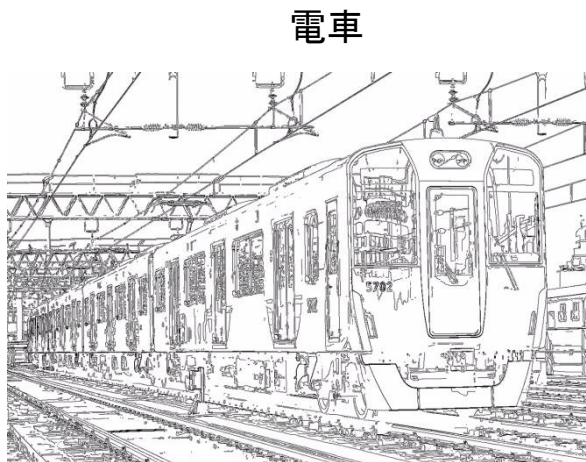
関連分野

業務用機械、電気機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、建設・土木

応用の可能性



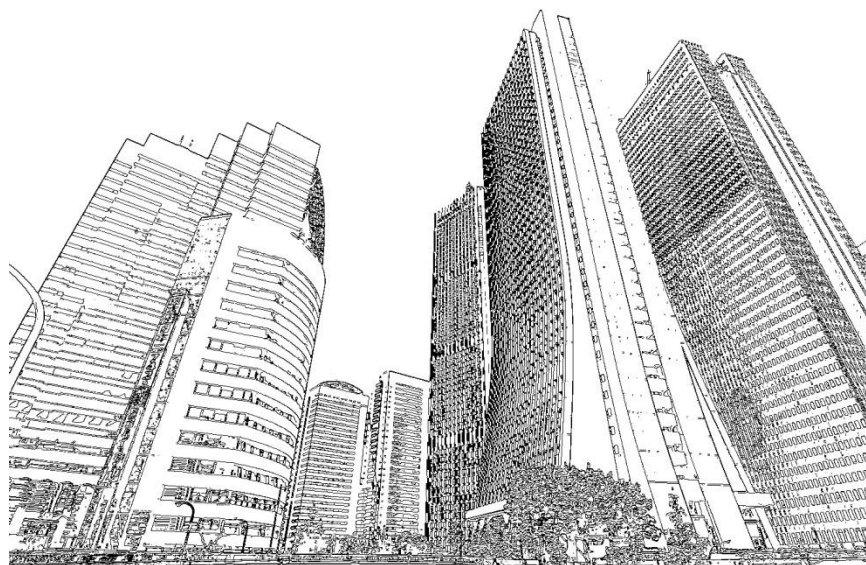
住宅



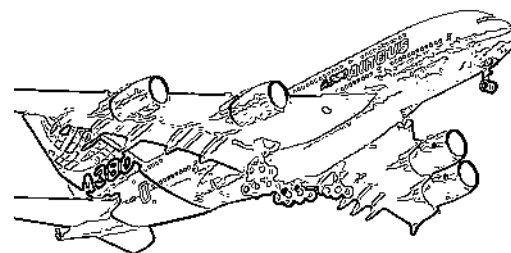
電車



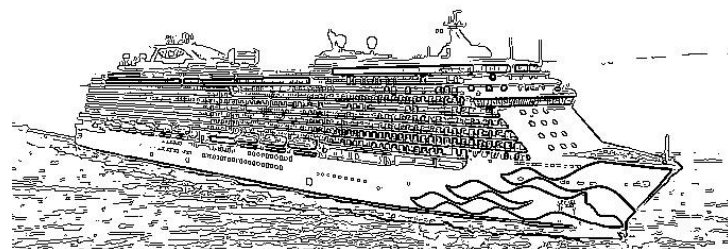
自動車



高層ビル



航空機



船舶

など

応用の可能性

- ・住宅
- ・電車
- ・自動車
- ・航空機
- ・船舶
- ・高層ビル
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・日本ペイント株式会社
- ・関西ペイント株式会社
- ・エスケー化研株式会社
- ・株式会社アステックペイントジャパン
- ・株式会社日進産業
- ・TOTOオキツモコーティングス株式会社
- ・AGCコーテック株式会社
- ・株式会社日本プロツバル
- ・大日本塗料株式会社
- ・株式会社トウペ
- ・ロックペイント株式会社
- ・日本特殊塗料株式会社
- など

協立技研株式会社および北村 透氏の本発明に関する最新動向

- ・協立技研株式会社のホームページ(<http://www.kgkk.co.jp/>)には、本件特許に関連する情報は見受けられない。
- ・北村透氏が代表を務める株式会社ケミカル・テクノロジーのホームページ(<http://www.chemical-tech.net/>)が見受けられた。しかし、同社のホームページ内には、本件特許に関連する情報は見受けられない。